



木もれびの森の樹木

シデ三兄弟

イヌシデ広場のイヌシデは、会のご神木？祠の中に賽銭が置いてあったりします。幹周り278.0センチメートル、会のシンボルツリーです。傍にいくと木に触って話しかけたくくなります。2013年 NPO 法人みどりのお医者さんに当時日本で3台しかないレジストグラフを用いて診断していただきました。空洞があったりしますが、特に治療や保護などを行う必要はないが傷付けたりしないように注意し継続的な観察を行うこと。幹や根本の開口部が大きくなるようなときは新たな障害により樹勢の悪化、腐朽の進行などが考えられるため樹木医に相談すること。皆で末永く見守っていきましょう！

シデは四手とも紙垂とも書き、玉串やしめ縄につけて垂らす紙、四手飾りのことです。果穂(かすい)の姿をこの四手に見立てて名前がつけられました。果穂とは、種子を抱いた果苞(葉が変化したもの)が房状になったもの。こもれびの森には、イヌシデ・アカシデ・クマシデがあります。カバノキ科クマシデ属。落葉高木。雌雄同株で花期は4月～5月。タネはヘリコプターのようにくるくる回りながら落ちます。

	<u>イヌシデ</u>	<u>アカシデ</u>	<u>クマシデ</u>
側脈対数	12から15本	12本以下	15本以上
果穂	4から8センチ	4から10センチ	5から10センチ
果苞	果苞が疎	果苞が疎	果苞が密、太い

イヌシデは、農工具の柄・スツテキ・薪炭・しいたけのホダ木などに。アカシデは、庭木・公園樹・器具・家具材・床柱などに利用。クマシデは、家具材・建築材・船舶材・漆器木地・靴型・薪炭材などに利用。シデ類は材が堅いので様々な利用のされかたをしています。H地区のクマシデは、木が弱っていますが今年も可愛い果穂を下げています。(高橋)



イヌシデの果穂



アカシデの果穂



クマシデの果穂

木もれびの森の薬用植物(9)

オケラ(キク科オケラ属)

今までご紹介した薬用植物は珍しくもなくありふれた植物でしたが、オケラは自生するものが少なく、絶滅危惧植物です。万葉集では「うけら(宇家良)」と呼ばれていたのが訛ってオケラ「朮」となり、お正月のお屠蘇の原料としても使われてきました。生薬には「白朮(びゃくじゅつ)」と「蒼朮(そうじゅつ)」があり、日本では、白朮の基原植物は日本、朝鮮半島に分布するオケラまたは中国に分布するオオバナオケラ、蒼朮の基原植物は中国に分布するホソバオケラなどと規定されています。漢方の基となった中国の

書には、後漢の「傷寒論」、隋唐の時代には「朮」としか記載がありませんが、宋の時代になると白朮の名称が出てきて、蒼朮と区別されるようになりました。白朮と蒼朮は共に消化吸収をよくする作用がありますが、白朮は止汗作用、蒼朮は発汗作用を持ち、成分としては、白朮にはアトラクチロン、蒼朮は似た名前でも全く違う化合物のアトラクチロジンが含まれるという違いがあります。漢方薬では、同じ処方でも白朮を用いたものと蒼朮を用いたものがあります。これは、漢方の基となる文献が複数あるので、処方の成分・分量基準には幅があるためです。



花後のオケラ

日本では製薬会社が自社基準を決め、白朮を採用するか蒼朮を採用するかは会社によって異なります。白朮と蒼朮どちらを使った処方がよいかは

人によって違う、というのが漢方です。

オケラは雌雄異株と記載されていますが、雌花と両性花が有るようです。苞葉は魚の骨のような形をしていて、花が終わったあとも興味深い姿が見られます。(川村)



オケラの花

活動紹介； ボランティアチャレンジスクール

当会は、森づくりとその保全、自然保護の普及啓発、子どもの健全育成の3つを活動目的としています。将来にわたり保安全管理に関われる人材を育てる活動の一環として、近隣小中学校の総合学習や青少年健全育成協議会事業などの支援をしています。

今回は、相模原ボラディア*と市立青少年学習センター主催の中高生が夏休み中に体験する「ボランティアチャレンジスクール」の受け入れについて紹介します。

事業の始まりは2009(平成21)年、当会は当初から参加しています。今年は、市内49の高齢・障がい・子ども・地域・環境保全・国際交流などの分野の各団体が夏休み中の生徒にボランティア活動を体験してもらい後日ワークショップを行いました。

当会の体験プログラムは「木もれびの森」をきれいにしよう！体験者は中学生2名と高校生1名で酷暑の8月19日、散策路沿いの草刈りを大人のボランティアと一緒に手鎌で刈り取る作業を行いました。林内は幾分温度が低いとはいえ、作業中は蒸し暑く汗をかきながらの活動でした。

午前9時から始めた作業で散策路は安全に気持ちよく歩けるようになり、後半は林内を散策しながら森の沿革などを説明し、正午にボランティア活動を終了しました。(肥田)

*:相模ボラディア:相模原市社会福祉協議会ボランティアセンター、さがみはら市民活動サポートセンター、さがみはら国際交流ラウンジの連携団体名。



作業前



作業後